



大館市立総合病院…施設自慢（1ページ掲載）

看護あきた

Nursing Akita

Vol.143

令和2年度4号

contents

シリーズ 施設自慢	1
シリーズ 輝いている人	2
認定看護管理者教育課程・訪問看護推進事業報告	3
在宅医療従事者育成支援事業・災害支援ナース派遣調整合同訓練	4
地区支部活動報告	5
3 職能委員会の活動報告	7
常任委員会の活動報告・安全情報	8
役員等立候補者の公示・理事会だより	9
秋田県ナースセンターニュース	10
事務局からのお知らせ	11

シリーズ 施設自慢

大館市立総合病院

看護部長
石田 和子

大館市は青森県の県境に位置し、四方を山に囲まれた盆地の中心にあります。北は、白神山から連なる田代岳、東は鳳凰山、南には比内連峰が聳え、山と川の四季折々の美しさが映える自然豊かな市です。

秋田犬、比内鶏、きりたんぼ、大館曲げわっぱなどが地域の名産品として知られていますが、特に秋田犬は多くの方々から愛され、市の観光キャラクターとして活躍しています。

当院は、秋田県北部における地域の中核病院として、二次医療を中心に幅広く地域住民の要望に沿った医療を展開しています。地理的には、青森県と接しているため弘前市との交通の便が良く、弘前大学からは多くの医師が派遣され、当院で勤務されています。

歴史を振り返ってみますと、明治12年「市立大館病院」として創設され、昭和28年官公庁一帯を含む大火にみまわれ全施設を焼失しました。その後「公立大館総合病院」、昭和41年には「大

館市立総合病院」と名称を変え、現在に至っています。病床数443床、診療科25科を有する総合病院で、一般診療をはじめ、救急、周産期、精神、小児、感染症など様々な分野において地域拠点病院としての役割を果たしています。平成28年に地域包括ケア病棟と認知症疾患医療センターが設置され、患者さんが住み慣れた場所で暮らし続けるための支援に力を入れています。また、令和2年より、入院する前から退院した後まで切れ目のない療養と支援を行うため、相談支援センターと地域連携室が統合され、患者サポートセンターとして運営を開始しています。

今後、認定看護師や、ナースプラクティショナーなどスペシャリストの活躍が期待されると思いますが、看護師の多様化する役割への支援体制を整えながら、変化に適応していきたいと考えます。地域の皆様の健康と暮らしを守るために、職員全員で一枚岩となって取り組んでいきたいと考えております。





医療法人惇慧会 外旭川病院
看護師

宮田 美奈

「今 自分出来る倫理的配慮」



新卒で療養病棟に配属され2年目になります。

日常の業務や夜勤に慣れてきた頃、新型コロナウイルスによって当たり前の日常が少しずつ変わっていききました。

面会制限が始まり、1ヶ月ぶりの予約面会でお互いに涙を流しておられます。想像以上に寂しくつらいことなのだと改めて感じています。

日常の様子をご家族に伝わるように「コミュニケーションノート」を活用しています。なかなか会えない状況だからこそ、ご家族に安心して頂けるよう「今、自分にできることは何か」と考えるようになりました。

当病棟は、吹き抜けから1階の受付が見える造りです。これを利用して、患者さんと娘さんに会ってもらいました。「お父さん、皆さんありがとうございます」と涙しながら2階に目を向けて喜んでおられました。ちょっとした倫理的配慮で、大きな幸せ感を皆が感じました。この事例をPeer Reviewで発表しました。自分出来ることは…と、今後も継続していきたいと思っています。

セカンドレベルを終えて

◆実施内容

1. 研修期間：9月2日(水)～12月1日(火)
全180時間
2. 修了者数：20名

◆受講者の声

受講にあたり自部署の管理上の課題を考え悩み、解決方法を模索している自分もいた。講義が進んでいく中で、幅広い知識や様々なデータから組織分析を行う方法や幅広い視野を持って状況を判断し管理していくことの大切さを講師の先生から学ぶことができた。効果的にマネジメントするためには、目の前の問題に囚われず、視野を広く持って俯瞰してみることが重要であると学んだ。

変革は、成長に繋がり、そこで得られた成果は強い組織文化の構築に繋がる。また、高度化する医療、多様化する患者のニーズに対応し、看護の質向上のため、私達看護師は生涯学び続けていかなくてはならないと感じた。看護管理が成立しているその根底には看護観があり、優れた管理には、必ず学習する文化が根付いているものである。時代によって変わるものは看護の役割、変わらないものは看護の本質であり、自分の看護観や看護管理観をしっかり持っておく必要があると感じた。

今回の研修で出会った仲間との時間はとても刺激になった。コロナ禍のなか濃密な接触はできなかったが、それでも語り合い、助け合いながら研修を修了できたことは貴重な財産となった。自施設の中だけでは決して気付かなかった様々なことを聞くことができ、今後に生かしていけるヒントを沢山もらった。この縁を大切に今後も繋がっていくことができばうれしいと思う。



令和2年度 訪問看護推進事業報告

訪問看護実践力向上研修

- ◆開催日時：県南地区 8月28日(金)、県中央地区 9月15日(火)
- ◆研修テーマ：「訪問看護の対象者の理解」「医療的ケア児の訪問看護の実践」
- ◆申込数：25名 ◆受講者数：25名 ◆修了者数：20名

◆受講者の声

- 精神の訪問に関しての困りごとが共通してあることが分かり、解決はできなくとも、どのような関りが必要か理解できた。
- 今後も様々な研修や交流の機会をいただければと思います。
- 秋田の現状やこれからの問題点について考えることができました。
- 具体的な事例を紹介いただいて、とても勉強になりました。訪問看護をする際の心構えも教えて頂きたいへん参考になりました。

訪問看護管理者研修

- ◆開催日時：9月26日(土)、10月17日(土)
- ◆研修テーマ：「訪問看護ステーションにおける質の管理、人材育成」
- ◆申込数：24名 ◆受講者数：22名 ◆修了者数：20名

◆受講者の声

- 在宅医療提供体制について理解することの大切さを学びました。また、質の管理は非常に重要と考えています。研修でそのヒントを得ました。実践に活かしていきたいです。学びの深い研修でした。
- 事業所自己評価ガイドラインは知っていたが使用することはないため、方法を知ったことでやってみようと思った。
- 久しぶりに訪問看護について熱く語る先生のお話を伺えた。地域とつなげる為には、地域を知ること、地域について興味をもって考えることが大切と思った。
- ステーションの運営方法の考え方を知ることができた。実際に多くのステーションを運営している先生からのお話で良かった。日ごろの看護管理の振り返りができた。



次年度は、訪問看護師養成講習会、訪問看護実践力向上研修(県北部・中央地区開催)、看護管理者研修、新卒等訪問看護師指導者研修等、訪問看護分野の研修を複数開講しておりますので、ぜひご参加ください。

1. 退院調整看護師養成研修

◆修了者数：52名

◆受講者の声

- 今回の研修会で学んだことを活かして退院調整看護師として頑張りたいです。
- ロールプレイでは普段とは違う患者サイドとして役割を演じ、今まで感じたことのないような思いや気付きがありとても勉強になりました。久しぶりの集合研修とても楽しかったです。ありがとうございました。

2. 介護福祉施設等研修講師派遣事業

実施期間	参加施設	認定看護師	研修分野
9月～12月上旬	14施設	のべ15名	感染管理、認知症看護 皮膚・排泄ケア

◆参加施設からの声

- 参考にさせて頂き、利用者さん方が安楽快適に過ごせるように業務改善して参りたいと思います。ありがとうございました。
- せん妄について基礎知識から予防や対策まで詳しく、またわかりやすく説明していただきありがとうございました。せん妄と認知症の違いも知ることができ、今後ケアするにあたり、違いを見極めていくことがとても重要なことだと感じました。

◆認定看護師の講師からの声

- これまで多くの介護・福祉施設等で研修会を行った経験を含めても、介護・福祉分野に従事する職員の研修機会の少なさをあらためて実感した。特に感染対策については、ニーズの高さを研修参加者の反応から感じた。この事業がもっと広く伝わって、多くの施設に支援できるとよい。
- 当院とは違う質の患者さんを学ぶ機会となり、自分自身にとっても大変学びの多い時間であった。



3. 介護福祉施設等看護職員資質向上研修

◆テーマ：「その人らしく生き抜くことを尊重した看取りを目指して
— 介護福祉施設で最後を迎えるとは —」

◆参加者の声

- とても勉強になりました。看取りに関して、改めて考える気持ちになりました。参加してよかったです。ありがとうございました。
- 看取りケアについて、資料等大変役立てられるもので、充実した内容でした。
- 今後の自施設で行う看取りケア、職員研修等に役立てていきたいと思っています。

	参加者数
県北地区	15名
中央地区	19名
県南地区	20名

4. 介護福祉施設等の看護職能力向上プログラム作成支援事業

今年度は介護福祉施設を2か所訪問し、「介護施設における看護職のための系統的な研修プログラム」の提案を行った。

日本看護協会と都道府県看護協会との令和2年度「災害支援ナース派遣調整合同訓練」

本訓練は、日本看護協会と都道府県看護協会との連絡や災害支援ナースの派遣調整を円滑に行い、災害支援ナース派遣の体制を改善・強化する目的で、毎年1回実施しています。本年度は12月8日～10日の3日間の日程で災害支援ナースが所属している医療機関へ一斉にFAXで発信し派遣要請や派遣候補者調整等の紙上訓練を行いました。今回は12施設から16名の災害支援ナースの参加をいただき、日本看護協会にて調整後、9施設12名の派遣となりました。ご協力ありがとうございました。

今年度より、災害支援ナースが所属する全施設にご案内させていただきましたが、説明が不足しておりご迷惑をおかけいたしました。今後とも引き続き、災害支援ナース派遣へのご協力とご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

地区支部 活動報告



北秋田市民病院

北秋田地区支部 支部長 五代儀 明美

3支部合同研修会

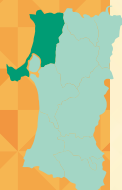
COVID-19感染症が猛威を振るって1年になろうとしています。各事業が中止される中、10月4日(日)鹿角・大館・北秋田地区3支部合同研修会が秋田看護福祉大学、実習室にて「最期まで口から食べるために私たちがすべきこと」と題して、雄勝中央病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 前田有紀子氏、ジュネス・デンタルクリニック 小菅一弘先生をお迎えし、3支部で52名の参加で開催されました。実習を含め有意義な研修会でした。3支部の会員交流の機会になればと来年も合同研修会を行う予定にしました。



ふれあい募金事業

障害者支援施設 厚生園へ訪問し、寄付金贈呈を行いました。コロナ禍で感染対策が急務であり、必要な衛生備品を購入したいと喜んでいただきました。





能代厚生医療
センター

能代・山本地区支部 支部長 日沼 ゆかり

地区支部活動について

早春の候 会員の皆様ますます隆盛のこととお喜び申し上げます。

2020年度 能代・山本地区支部活動は、新型コロナウイルスの影響で予定していた地区支部活動ができずに残念な思いをしました。新型コロナウイルス感染状況に合わせて自分達ができる活動を役員会で検討し活動内容を修正しました。

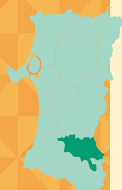


①看護研究発表会中止し9題の演題を載せた「看護研究冊子」を作成し配布

②一日看護学生のふれあい看護体験中止「看護のお仕事」と題し看護職の紹介パンフレット作成し、看護グッズと共に能代・山本管内5高校へ配布

③役員会議を4回開催しました。少ない活動でしたが、役員会員や会員施設との連携、協力を得て円滑に推進できました。次年度は会員の皆様とたくさん交流できるように祈っております。皆様くれぐれもご自愛ください。

能代・山本地区支部



市立横手病院

横手地区支部 支部長 高橋 礼子

地区支部活動について

新型コロナウイルスが世界を震撼させて1年になりました。徐々に治まってくれと願いながらも終息の兆しが見えないまま1年が過ぎてしまいました。令和2年度の地区支部活動も十分にできず、ほぼ活動がないという初めての経験をしました。

そのような状況のなかで、ふれあい募金事業、出前授業や出前講座、看護研究（発表会なし）を行いました。ふれあい募金事業や出前授業・講座では温かい感謝の言葉をいただいています。看護研究発表会は残念ながら開催できませんでしたが、講評していただいた集録集を配布することができました。皆様のご協力ありがとうございました。

会員一同、心からコロナの終息を祈っています。



横手地区支部

3 職 能 委 員 会 の 活 動 報 告



保健師職能委員会

委員長 鹿子沢真由美

令和2年度保健師職能委員会の事業について報告します。

今年度は、「保健師の資質の向上と組織強化」「保健師の専門性を活かした健康寿命の延伸に向けた地域連携推進」を活動目標に事業を実施しました。

保健師職能集会として、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けて～事業概要と実施自治体の事例紹介」を開催しました。事業説明と2市、1団体から事例紹介をいただき、意見交換を実施しました。

また、日本看護協会作成の「複雑かつ多重課題解決に向けた事例検討会手引き」を活用し、複雑かつ多重課題を抱える事例検討会を開催しました。基調講演と母子関係、精神関係、8050問題の3事例を提供いただき、グループワークを実施しました。



助産師職能委員会

委員長 篠田 玲子

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で「国際助産師の日」、「子育て応援団すこやかあきた」等主要事業が中止となりました。11月12日国際認定母乳育児コンサルタントの資格を持つ菅原光子氏を講師に「産後のメンタルヘルス」というテーマで助産師集会を開催しました。参加者は15名でしたが「コミュニケーションスキルを高めより良いケアを」と再確認することができました。

また今年度はアドバンス助産師が初めて再認証を受ける年でしたが、県内更新者数は少なかったようです。来年度も新規・再認証がありますので、必要な情報を発信したいと思います。



看護師職能委員会Ⅰ

委員長 鈴木 節子

今年度は、看護師職能Ⅰ（病院領域）として初めての活動であり、看護師職能Ⅰ集会と看護師職能Ⅰ・Ⅱシンポジウムを開催予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。10月23日（金）地域包括ケア時代における3職能の役割を相互理解し、連携を強化する目的で「3職能合同交流会」を開催し54名の参加がありました。オンラインによる日本看護協会副会長 齋藤訓子氏の「地域包括システムに向けた看看連携の強化」の講演後、3職能からの情報提供があり参加者と活発な意見交換をしました。「看看連携の重要性を再認識した」「各職種の役割を知ることができた」などの意見が多く寄せられました。



看護師職能委員会Ⅱ

委員長 豊嶋 直美

今年度は、看護師職能Ⅱ立ち上げの初年度であり、在宅・介護福祉領域で働く看護職の看看連携に関する現状と課題発見のためのアンケート調査を実施しました。多くの方々から回答をいただき課題を明確にすることができました。ご協力ありがとうございました。

また11月5日（木）に開催した「看護師職能Ⅱ集会」では、アンケート結果を踏まえた交流と相互のネットワークを広げることが出来ました。

次年度は看看連携の見える化や最適化に向けた取り組みの推進、さらに地域包括ケア時代における看取りとACP「人生の最終段階における医療やケアに関する意思決定支援」についてシンポジウムを開催します。多くの方々の参加をお待ちしています。



看護労働環境改善委員会

業務上の危険に対する認識と対処についての実態調査

近年、看護職の働き方や場の多様化が進む中、看護職が健康で安全に働き続けられる、持続可能な職場環境の整備が必要である。

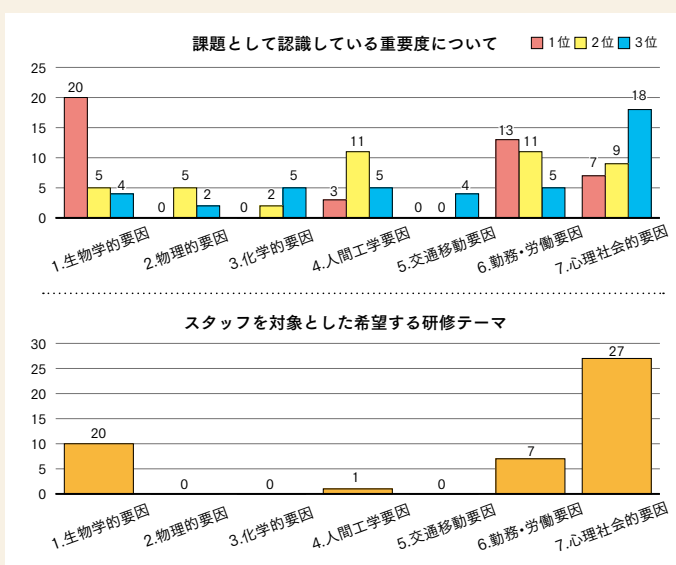
そこで、今年度、当委員会では、県内66施設の看護管理者対象に「業務上の危険に対する認識と対処について」のアンケート調査を行い、43施設から回答があった。業務上の危険要因^{*}は7つあり、調査項目の「課題として認識している重要度」と「今後組織的な取り組みを進めていく」では、心理社会的要因が上位にあげられた。また、希望研修テーマについても「職場のハラスメント対策」「院内暴力への対応」が多かった。このことから、心理社会的要因を課題認識している重要度は高いと感じているが、十分な対応がされていない現状であることがうかがえた。

次年度は、職場のハラスメント対策や院内暴力への対応の研修を企画した。

最後に、本調査にご協力いただきました、各病院の看護管理者の皆様にご心より感謝申し上げます。

※労働安全衛生ガイドラインの中での、業務上の危険に対する7つの要因

危険要因	内 容
1.生物学的要因	職場にあるウイルス・細菌・植物など
2.物理的要因	職場にある電気・熱・音・電子機器、換気等
3.化学的要因	消毒剤・滅菌剤・薬物、清掃薬剤等
4.人間工学要因	腰・首・肩・手首の痛み・眼精疲労等
5.交通移動要因	通勤や業務のための交通移動に伴う危険
6.勤務・労働要因	勤務形態・労働時間の長さ等
7.心理社会的要因	患者・同僚及び第三者による暴力・ハラスメント・精神的ストレス



66

安全情報

Safety Information

No.28

医療・看護安全委員会

転倒・転落が原因で頭部外傷となった事例が増えています。

(転倒・転落時に頭部への衝撃を和らげるための手順)

抜粋：日本医療安全調査機構

ナースコールを押して介助の必要性を知らせることができる

いいえ

はい

ベッド柵を乗り越える能力がある
□ 寝返りが可能 □ 端座位が可能

1つでもはい

すべていいえ

【対策】

- ・衝撃吸収マット
- ・低床ベッド
- ・保護帽

【対策】

- ・安全対策として柵を使用

【対策】

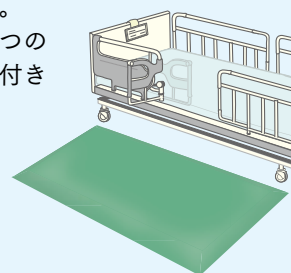
- ・普通ベッド
- ・押しやすい所にナースコール設置

センサー使用時の注意

4点柵の場合は柵を乗り越えようとする危険があります。

【対策】

- ・3点柵とする。
- ・4点柵でも1つの柵をL字バー付きの柵とする。



令和3年度 役員等立候補者の公示について

令和3年度役員等の選挙について、次の候補者が立候補されましたので公示します。

令和3年3月2日
秋田県看護協会選挙管理委員会
委員長 須藤 成子

1. 理事・監事候補者

(任期－理事2年、監事4年 所属－令和3年3月2日現在)

役職名	氏名	職種	所属施設名	協会活動歴	摘要
理事	森合 真由美	保健師	在宅	元先駆の保健事業推進委員会委員	推薦委員会推薦
理事	大塚 悦子	看護師	秋田県看護協会	現理事（教育）	推薦委員会推薦
理事	鹿子沢 真由美	保健師	秋田市役所	現理事（保健師職能）	推薦委員会推薦
理事	齊藤 清子	助産師	秋田県立衛生看護学院	現助産師職能委員会委員	推薦委員会推薦
理事	豊嶋 直美	看護師	リンデンバウムいずみ	現理事（看護師職能Ⅱ）	推薦委員会推薦
理事	杉澤 雅子	看護師	かづの厚生病院	元地区支部委員（副支部長）	推薦委員会推薦
理事	石田 和子	看護師	大館市立総合病院	元推薦委員会委員	推薦委員会推薦
理事	五代儀 明美	助産師	北秋田市民病院	現理事（地区支部）	推薦委員会推薦
理事	安田 純子	看護師	地域医療機能推進機構 秋田病院	元地区支部委員（副支部長）	推薦委員会推薦
理事	山岡 ふき子	看護師	秋田赤十字病院	現認定看護管理者教育運営委員会委員	推薦委員会推薦

2. 推薦委員会委員候補者

(任期－2年、所属－令和3年3月2日現在)

氏名	職種	地区	所属施設名	協会活動歴	適用
近藤 多美子	看護師	中央	秋田県立循環器・脳脊髄センター	元教育委員会委員	推薦委員会推薦
高山 美穂子	看護師	県南	市立大森病院	元地区支部委員（幹事）	推薦委員会推薦

令和4年度 代議員等立候補者の公示について

令和4年度日本看護協会代議員及び予備代議員について、次の候補者が立候補されましたので公示します。

令和3年3月2日
秋田県看護協会選挙管理委員会
委員長 須藤 成子

1. 代議員候補者（推薦委員会推薦）

(代議員数7名、任期－令和4年度1年間、所属－令和3年3月2日現在)

NO.	推薦区分	氏名	職能別	所属	協会活動歴
1	保健師職能	鹿子沢 真由美	保健師	秋田市役所	現理事（保健師職能）
2	助産師職能	齊藤 清子	助産師	秋田県立衛生看護学院	現助産師職能委員会委員
3	看護師職能	吹谷 由美子	看護師	秋田県看護協会	現理事（常務理事）
4	看護師職能	豊嶋 直美	看護師	リンデンバウムいずみ	現理事（看護師職能Ⅱ）
5	看護師職能（准看）	阿蘇 真澄	准看護師	本荘第一病院	現理事（准看護師担当）
6	大館地区支部	石田 和子	看護師	大館市立総合病院	元推薦委員会委員
7	秋田臨海地区支部	山岡 ふき子	看護師	秋田赤十字病院	現認定看護管理者教育運営委員会委員

2. 予備代議員候補者（推薦委員会推薦）

(予備代議員数8名、任期－令和4年度1年間、所属－令和3年3月2日現在)

NO.	推薦区分	氏名	職能別	所属	協会活動歴
1	保健師職能	加賀谷 純子	保健師	秋田県立衛生看護学校	現保健師職能委員会委員
2	助産師職能	檜森 敏子	助産師	能代厚生医療センター	現助産師職能委員会委員
3	看護師職能	高橋 まゆみ	看護師	市立横手病院	現看護師職能委員会Ⅰ委員
4	看護師職能	石野 真理	看護師	介護老人保健施設遊心苑	現看護師職能委員会Ⅱ委員
5	看護師職能（准看1）	三浦 千春	准看護師	本荘第一病院	元地区支部委員（幹事）
6	看護師職能（准看2）	細谷 玲子	准看護師	本荘第一病院	－
7	大館地区支部	菅原 千鶴子	看護師	大館市立総合病院	現地区支部役員（副支部長）
8	秋田臨海地区支部	大村 真利子	看護師	秋田県立医療養育センター	－

理事会だより

◎第7回

令和3年1月27日(水)

【議事】

- 1) 令和3年度事業計画（案）について……………[承認]
- 2) 令和3年度教育計画（案）について……………[承認]
- 3) 令和3年度通常総会プログラム（案）及び招集範囲（案）について……………[承認]
- 4) 令和3年度会長表彰受賞者（案）について……………[承認]
- 5) 令和2年度補正収支予算書（案）について……………[承認]
- 6) 令和2年度会長表彰受賞者（優秀学生賞）（案）……………[承認]
- 7) 修学資金貸付制度の廃止について（案）……………[承認]

【協議事項】

- 1) 日本看護協会への要望について
- 2) 令和3年度予算精算状況について

【報告事項】

- 1) 会長（代表理事）の職務執行状況報告
- 2) 三職能・地区支部事業報告

- 3) 常務理事（業務執行理事）の職務執行状況報告
- 4) 会計報告
- 5) 令和3年度日本看護協会会長表彰候補者について
- 6) 令和3年度秋田県看護協会改選役員・推薦委員候補者の推薦、令和4年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の推薦について
- 7) 訪問看護ステーションのパート職員への特別支給（慰労金）について
- 8) 新規地区支部役員の推薦及び法人カードの管理について
- 9) 令和3年度秋田県看護協会及び日本看護協会行事日程について
- 10) その他
 1. 新型コロナウイルス感染症への対応について
 2. 新型コロナウイルス感染症の影響下における令和3年度新人看護職員の実践能力確保のための支援に関する要望
 3. クラスター発生時の看護職員の派遣体制の構築について

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ（<http://www.akita-kango.or.jp/>）をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。



秋田県ナースセンターニュース



秋田県ナースセンターでは、求人施設の紹介・あっせんを行う職業紹介事業だけでなく、就業、復帰を希望する看護職に向けた復職支援研修を行っています。

離職時には「とどけるん」に届出登録をお願いします。

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正（2015年10月から）により、保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をもち、病院等の職場を離職した場合などに、都道府県ナースセンターへ氏名や連絡先などを届け出ることが努力義務となっています。

届出登録のメリット

- 看護職員が相談に応じ、就職をサポートします。
- あなたの希望に合った勤務形態の施設をご紹介します。
- 復職のための研修を開催情報を提供します。



とどけるん

詳細は届出専用サイト
「とどけるん」又は
秋田県ナースセンター窓口へ！



施設の方へ、看護職の方が退職される場合には、届出制度のご案内及び代行届へのご協力を引き続きお願いします。

今年度8月からe-ラーニングを活用した研修を始めました。



基礎習得コース（バイタルサイン、吸引、静脈注射、採血など22テーマ）、院内全体研修（医療安全、看護倫理、感染対策など27テーマ）、認知症コース（8テーマ）を学習できます。受講者25名中18名が受講を終了しました。2月10現在、受講中の方も含め6名の方が再就業につながっています。受講者からアンケートを聴取していますので、集計がまとまり次第、報告します。

※今年度の受付は終了しました。

採血練習キットを活用して採血の技術の確認演習を始めました。

12月5日に5名の方が採血の技術の確認を資料を基に行い、その後、採血練習キットで、真空採血管にホルダー付き採血針で、採血を行いました。また安全機能付き翼状針の抜針の実際や、サーフロー針を刺入して逆血を確認しました。実技演習に関して参加者から、「今後、求職活動をするにあたり、良い刺激となり、自信につながった」との感想があり、今後も簡易的な実技演習を企画する予定です。





事務局からのお知らせ

令和3年度 認定看護管理者教育課程

ファーストレベル

開催期間

令和3年5月25日(火)～8月4日(水)

申込期日

令和3年4月12日(月) 17時必着

定員

80名

サードレベル

開催期間

令和3年9月1日(水)～11月19日(金)

申込期日

令和3年5月24日(月) 17時必着

定員

20名

詳細は、教育計画冊子P24～P30認定看護管理者教育課程 募集要項をご確認ください。ファーストレベルは定員を20名増やしました。サードレベルは2年ぶり3回目の開講です。皆様の多数のお申込みをお待ちしております。

開催日時
令和3年6.23[水]
13:30～15:50

秋田県看護協会通常総会

[会場] 秋田県総合保健センター2階 大会議室

[対象者] 秋田県看護協会会員

開催日時
令和3年5.15[土]
10:00～12:15

「看護の日」フェア・「国際助産師の日」記念行事

[会場] 秋田拠点センター アルヴェ1階 きらめき広場

[対象者] 秋田県民(どなたでも参加可) [参加費] 無料

第47回 秋田県看護学会演題募集

[対象者] 秋田県看護協会会員

令和3年度入会手続きを済ませた者

[演題受付期間] 令和3年3月15日(月)～5月28日(金)

* 演題募集、論文投稿に必要な書類は秋田県看護協会公式ホームページからダウンロードしてください。

地域における看護研究支援

[対象者] 秋田県看護協会会員

[支援期間] 令和3年5月～令和4年3月

[申込〆切] 4月22日(木) 17時必着

[参加費] 1件 30,000円(税込)

* 詳細は秋田県看護協会公式ホームページをご覧ください。

編集後記

いつまでも寒い日が続いていると思っているうちに花の蕾もふくらみ、春の準備が進んでいるようです。会員の皆様はどうお過ごしでしょうか? 新型コロナウイルスや大雪による影響で活動の自粛など心労が絶えない状態でしたね。慌ただしい中、今年度も予定通り年4回の「看護あきた」の発刊を終えることができ委員一同安堵しております。今後も感染対策と体調管理に努めながら皆様が元気になるような広報誌を作っていきたいと思います。

(記: 広報委員 佐々木亜希子)

水と、空気と、睡眠と。

東洋羽毛 睡眠セミナー 無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —＊

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア

東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん

お気軽にお問い合わせください

0120-639601

東洋羽毛北部販売株式会社 秋田営業所
〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目9-25山王SEビル5F

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。